

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
金田地区(第2期)

令和4年3月

千葉県木更津市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	公民館等利用者数	千人/年	8	8.0	確定	△	あり ●	35.0	R2年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	金田公民館に無かった多目的ホールなどの施設機能が充実したことや広場を活用したイベントの開催などにより地区内外からの利用者が増加した。	
				見込み ●	なし								
指標2	活動サークル団体数	団体	20	21	確定	×	あり ●	59	R2年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	施設機能が充実したことにより、これまでよりも活動の幅が広がったことで活動団体数が増加した。	
				見込み ●	なし								
指標3	定住人口	千人	2	3.5	確定	○	あり ●	3.9	R2年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	まちづくりが進んだことにより、良好な住環境が更に整ったことで定住人口が増加した。	
				見込み ●	なし								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	商業及び工業の土地利用面積	m <sup>2</sup>	51.5万	52.4万	確定 ●	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地区の多機能複合型のまちづくりが進み、商工業施設の立地、開業が進んでいる。	
				見込み ●	/	/	/						
その他の数値指標2	交流人口	人/日	1,826	2,073	確定 ●	/	/	1,997	R2年3月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新型コロナウイルス(3月)の影響がなく、従前と同様の利用者数であった場合、事後評価時よりも更に増加したと考えられる。	
				見込み ●	/	/							

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	多機能複合的なまちづくりに向けた定住人口、商工業の継続的な増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業により、宅地の造成が進められた。</li> <li>・木更津市企業誘致方針(R2.3改訂)において、金田地区を誘致拠点としており、市HP等でPRを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅地の造成が進み、戸建住宅や集合住宅が建てられ、定住人口の増加に寄与した。</li> <li>・開業を検討している企業から相談があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業の進捗を図っていくことが必要。</li> <li>・県及び区画整理事務所から分譲状況を把握し、造成区画への企業誘致を進める。</li> </ul>
	地区内道路の整備の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業により、道路の整備が進められた。</li> <li>・地元市政協力員の申請に基づき、防犯灯設置に対し補助金の交付を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備が進み、歩道が出来たことなどにより、安全性の向上が図られた。</li> <li>・地区内における、防犯力が向上した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業の進捗を図っていくことが必要。</li> <li>・自治会等と十分な連携を行い、今後も住宅開発や新規店舗の参入等により環境変化が見込まれる地区情勢に合わせた防犯対策・支援を継続する。</li> </ul>
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	定住人口の増加に対応した施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金田小学校の校舎増築事業、給食室の改修設計、備品整備を実施した。</li> <li>・保育施設について、国・県の補助金を活用し、民間施設の整備に対して支援を行った。</li> <li>・金田東1号近隣公園(トイレ、駐車場、敷地造成等)の整備を実施した。</li> <li>・木更津市地域公共交通網形成計画(H30.3)及び木更津市地域公共交通再編実施計画(R1.3)を策定し、地域住民の生活の足の確保に向けた方針を定めた。</li> <li>・通院や買い物など地域住民の生活の足の確保のための、新たな交通システムの導入に関する協議。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金田小学校の児童数増による施設の不足が解消される見込みとなった。</li> <li>・地区内において民間保育施設が新設され、保育の受け皿が拡大された。</li> <li>・金田交流センターに隣接する形で整備したことにより連続した利用を促すことが可能となった。</li> <li>・公共交通に特化した計画として、地域住民の生活の足の確保と、木更津金田バスターミナルの機能強化等を定め、関係者が共通認識をもって目標達成にむけた取組を推進できるようになった。</li> <li>・地域との協議の結果、土地区画整理事業の進展により生活環境が変化している状況であることや、通院については新たに地域内に開業した病院が送迎車を運行していること等から、新たな交通システムの導入については、今後のまちづくりの進展を見据え、適切な時期に地域や交通事業者と協議を行うこととなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業完了に伴う、金田小中学校の土地購入に向けた事務について検討する。</li> <li>・今後の人口推移の状況によっては、今後も施設整備を支援していく必要がある。</li> <li>・次期介護保険事業計画策定時に、金田地区での施設整備の必要性を検討する。</li> <li>・引き続き金田東1号近隣公園の整備を実施する。また、未整備の金田東6号街区公園の整備を実施する必要がある。</li> <li>・計画に沿って、路線バスの統合や木更津金田バスターミナル、民間企業の複合施設、木更津市金田地域交流センター等に繋ぐ利便性の高い効率的な路線の延伸等を検討する。</li> <li>・地域の意向を踏まえ、適切な時期に協議を再開するとともに、特に支援が必要と考えられる高齢者や障がい者の生活の足の確保については、タクシー券の交付により対応していく。</li> </ul>
	継続的な地域住民の交流拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金田地域交流センターについて、ラジオ、YouTube、市広報紙、Facebook等、様々な媒体を活用し、情報発信を行った。</li> <li>・金田地域交流センターの管理運営に指定管理者を導入し、民間企業ならではの様々な自主事業を展開し、利用促進を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外、県外からの利用者が増加した。</li> <li>・金田地域交流センターの利用者数、活動サークル団体者数が目標値を大きく上回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、金田地域交流センターの利用停止がなされ、自主事業の中止が余儀なくされた。しかしながら、今後も同様の状況が続く可能性が高いため、今の環境の中でも「断続的な地域住民の交流拠点の形成」ができる方法を模索する必要がある。</li> </ul>
	地区内の災害対応能力の向上に向けた環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木更津市金田交流センターを災害救助法に基づく指定緊急避難場所兼指定避難所、国民保護法に基づく避難施設に指定した。</li> <li>・木更津市金田交流センター津波避難ビルの指定に向け調整・検討を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害が発生し、又は発生する恐れがある場合及び、災害の危険性があり避難した住民などの安全確保を図ることができた。</li> <li>・新たな商業施設の進出が進んでいることから木更津市金田交流センター以外の商業施設も含め津波避難ビルの指定に向け調整・検討を行うこととなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都直下型地震の発生も想定されているため、ハード面での災害時の対応力強化を進めるとともに、地域内住民や商業施設と連携した防災訓練などのソフト面の充実を進め地域内の防災意識向上を図ることが重要となっている。</li> </ul>

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項